

細川大臣閣議後記者会見概要

(H22.10.19(火) 9:16 ~ 9:25 ぶら下がり)

(記者)

年金保険料の悪質な滞納者に対し、国税庁に委任をして強制徴収をしてもらうということで準備を進めておられたと思いますが、どのような効果を期待されるか、またどう周知をされるかお聞かせください。

(大臣)

その点についてはどういうふうにやったらいいかということを検討中で、ここで具体的にどうやるかについてはまたの機会に詳しく御説明させていただけたらと思います。

(記者)

周知に向けて何らかの御説明はなさるのでしょうか。

(大臣)

特に国民年金の保険料の納付率が悪くなって、確か60%くらいですが、そういう意味では納付率が悪いということは年金制度そのものにとって由々しき問題だと思います。したがって、年金制度そのものも大きく変えていかなければということで検討しているわけで、そういうことを含めてどういうふうに徴収していくかも検討の中に入ってくると思いますので、またその点については詳しく申し上げたいと思います。

(記者)

今日から厚生労働委員会が参議院から始まりますが、衆議院の方もまもなく始まると思いますが、それに対しての大臣の抱負ですとか、こういった法案を是非通したいという思いを改めてお伺いしたいのですが。

(大臣)

今、国会で御審議いただいている、いわゆる継続審議になっている法案が3本ございます。これは労働者派遣法の改正案など3本ですが、それに加えて雇用・能力開発機構廃止法案ですが、これは提案いたしました。今回提案いたしました法案と、継続審議になっております3本の法案を我々としては今国会で是非成立させていただきたいということで、国会の衆参の委員会では精力的に御審議いただけたらと思っております。